



次世代北信がんプロ セミナー

Next generation Hokushin cancer professional seminar

大学院生・がん診療連携拠点病院
地域がん診療推進病院等の
医師・薬剤師・看護師・診療放射線
技師
臨床検査技師など医療スタッフ
の皆さま

TGF- β /BMPシグナルの多彩な機能の解明を目指して ～分子クローニングからバイオイメーシングまで～

2025.6.6 金

オンラインと現地で開催

【参加申込フォーム】

現地／金沢大学附属病院CPDセンター

17:00-18:30

参加希望者は6月4日(水)までに

下記のQRコードから申込ください。



講 演

近年の医学研究においては、より詳細な生命現象や動態を知るために、生きた個体において分子や細胞がどのような動態をとるかをリアルタイムで解析することが求められ、それはがん研究領域においても例外ではない。

本講演では、生体中の分子・細胞の時空間動態解析や高精細3D解析を実現させるための革新的生体蛍光イメージング技術開発、さまざまな蛍光タンパク質や蛍光色素を駆使して生体でがん細胞の動態、機能や環境を画像化して解析する手法を紹介する。

具体的には、TGF- β /BMPシグナル研究を通じて開発した、細胞周期プローブ

(Fucci)を用いたがん細胞の増殖からビメンチンプロモータープローブを用いたEMTイメージング、さらに、超解像顕微鏡によるミトコンドリアの高解像リアルタイムイメージングからメダカやマウスの全身マクロイメージング、さらに2光子励起蛍光顕微鏡や光シート顕微鏡を用いた高解像生体深部イメージングやオルガノイド解析まで、次世代がん研究に必須の技術とその応用例を紹介する。

次世代がん研究において、生体蛍光イメージング技術を駆使し、動物が生きたまま、がん細胞の動態、機能や環境をイメージングし、その分子メカニズムを解明し、さらに創薬応用することは有用であろう。

愛媛大学大学院医学系研究科

分子病態医学講座 教授

今村健志 先生

講師略歴

1987年に鹿児島大学医学部を卒業後、整形外科の臨床研究および大学院を経て、整形外科専門医を取得後、1994年に鹿児島大学医学部附属病院助手、同年スウェーデン王国ウプサラ大学ルードヴィヒ癌研究所に留学、1996年に帰国後は、(財)癌研究会癌研究所生化学部で研究員と主任研究員を経て、2004年に生化学部部長に就任、2010年から愛媛大学大学院医学系研究科分子病態医学講座教授、医学博士、専門は、シグナル伝達とがん・骨代謝・バイオイメーシング、2009年から6年間JST CREST「光展開」の研究代表者として新しい顕微鏡(2光子励起顕微鏡)を開発した。さらに2018年から6年間AMED-CREST佐藤俊朗プロジェクトにてオルガノイド顕微鏡開発を行った。2021年から3年間愛媛大学副学長を務め、2025年から愛媛大学医学部附属病院先端医療創生センター・センター長を務める。

問い合わせ先

次世代北信がんプロ事務局 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1

TEL: 076 (265) 2888 E-mail: gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

次 世 代 北 信 が ん プ ロ 科 目 単 位 申 請 対 象 の セ ミ ナ ー で す